





アンネフランクパネル展の資材は10個のケースに収められ届きました。総重量170kgになります。三年生の生徒たちと一緒にそれらを組み立てました。生徒たちの手際の良さに驚きました。



記録用紙に感想とアンネさんの言葉を英語で記入しながら見学しました。



「アンネ・フランク」聞いたことはありましたが、実際にとんなこととしたかは全然しらなかったのではとも良い機会になったと思います。  
 また、アンネについて知れただけでなく、差別や収容所、死についてな人も、体験された人が残っていた物を見たりして、とても詳しく知れました。そして、単に差別や思い違いと言っても度が過ぎるとおんなことになってしまうと言ったことを自分が体験したかのように知れて本当に良かったです。  
 感想

アンネが(家族) どういう人生を歩んだのか、よくわかりました。死体の写真、死体がメロメロおせて、本当になんも食べれなかったんだと思います。子供もまだ未来があるのに殺されて、悲しそうだなと思います。戦争とか、この差別は、絶対にしてはいけないと思います。後、私の母さんが10歳の時に、オットーさんはなくなったことに驚きました。

**感想**

ナチスがこんなことをしていたとは思っていません。本当にひどく驚きました。

また、アンネ・フランクという人は知っていても、日記に書いた言葉や、隠れ家でのこと、アンネの人生については詳しく知らなかった。なので、本当に良い機会でした。

今日の日記展で  
 元々アンネ・フランクという人のことを知っていましたが、ナチス党がこんな色々な悲惨なことをしていたことが初めてわかりました。  
 特に、写真を通して見ると心は本当に大変なことがよくわかります。  
 この他にも大変な中、日記を書いていたアンネは本当にすごいと思います。  
 とてもいい見学になりました。

ナチスがこんなに酷くて、びっくりしました。どうやってどうすれば、あんなに多くの人を殺すことができるのか、私にはわかりません。  
 ほんとうにおおくの人の苦しみと辛さ、おそろいかなしみか、感じます。ほんとうにくるしいです。  
 どうがそれが2度とこないでほしいです。たさんのご家族の人たちのすてきな未来が、こわさずいていくのをみて、人間っておそろいとおもいました。  
 三育学院中学校 2021

生徒の感想を読んでいて気づいたのは、今回のアンネフランクパネル展で「アンネの日記」やアンネフランクさんのことを初めて知った、という言葉が見られたことでした。以前は国語や英語の教科書にも「アンネの日記」は取り上げられていて、多くの方がアンネさんを通して当時のことを知っていました。また、テレビや映画にも取り上げられていました。風化させてはいけないと生徒の感想を読みながら考えました。  
 (山崎記)